

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児工業高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月8日(木)
- 3 開催場所 可児工業高校 会議室
開催するにあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者 委 員 大杉 守平 様 中恵土自治会連合会会長
古山 友生 様 可児市立図書館長
各務 真弓 様 可児市多文化共生センター事務局長
前山 香織 様 元本校PTA役員
今井田 みゆき 様 元本校PTA役員
日比野 光伸 様 本校同窓会副会長

学 校 側 中西 竜也 校長
古田 光 事務長
庄司 幸宏 教頭
熊崎 俊介 教務主任
三輪 武 生徒指導主事
林 貴康 進路指導主事
宮田 忠夫 工業部長

5 会議の概要

(1) 令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について

学校教育目標達成に向けての教育指導の重点及びその達成に必要な具体的な取り組み、方策について参加委員全員からの承認を得た。

(2) 本校に対する意見・提言

意見1：7割程度の生徒が就職希望するとのことであるが、実際は四年制大学に進学している生徒もいる。就職だけではなく、大学進学も可能であることを中学生やその保護者に積極的にアピールしてもよいのではないかと。

意見2：昨年度の有効求人倍率が23.6倍と高く、概ね希望通りの就職ができたということであるが、卒業後の離職率の状況についてはどのようになっているのか。

⇒ 本校における過去5年間の調査によると離職率は2割程度なのでそれほど高いわけではない。1年次からのキャリア教育の取組などが離職率の低さにつながっていると考えられる。離職した理由には、希望する会社への転職や家業を継ぐためといった前向きなものが多い。（進路指導部）

意見3：求人倍率が高く就職に強く、卒業後の離職率も低いといった本校ならではの強みや全国高校生建築製図コンクールで女子生徒が金賞に輝いたことなどを、オープンキャンパスや中学生一日体験入学などの機会に中学生やその保護者に効果的に情報発信できるとよい。

意見4：就職する生徒が多い中で、身だしなみや日々の生活で決まりごとが多くあるが、多様性や個人の自由が求められている今の時代においては、校則の緩和に向けて見直しを図るべきではないか。

⇒ 県内の工業高校における身だしなみ指導については同様な傾向が見られ、長髪を許容するなど大きく緩和するところまで踏み込めていない状況である。しかし、昨年度は、頭髪のツーブロックを禁止事項から除外するなど、徐々に緩和する方向に動いている。（生徒指導部）

意見5：時代の流れとともに校則が自由化する流れにあっても、規則やルールにはしっかり従うべきであることも教えてほしい。社会に出てからルールを守る厳しさを教えるもすぐに適応することが難しい。

意見6：入学者選考には外国人枠があるが、実際工業高校へ入学することはハードルが高い。日本語を十分に理解していない生徒でも、工業に興味を持つ生徒が学ぶことができる環境が整うとよい。そのためには、日本語教育のサポート体制を充実させ、危険な作業を伴う実習の指導法などいくつかの課題を解決する必要がある。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、本校の学校運営方針について、全委員より承認が得られた。
- ・本校の強みである就職に有利であることや進学にも対応できることを積極的に、中学生やその保護者にアピールしていくことの大切さが示された。
- ・価値観が多様化する中で、校則の見直しや、日本語を十分理解できない生徒たちへの対応といった課題に取り組んでいく必要性を認識した。
- ・委員の方の貴重なご意見・ご助言をもとに、今後も、魅力と活力ある工業高校を目指し、地域社会や産業に貢献する人材を育成していきたいと考える。